



次回は4日。納所小

徳田 鈴蘭  
名古屋 聡李  
若川 隆也

になりたい  
表情豊かにおどれるダンサー  
になりきたい  
ごうかな家を建てる大工さん  
になりきたい  
手紙をどんどん運んでがんばるゆう便屋さん

唯我独尊  
一人ひとりの違いこそ、魅力であり、人生を豊かにするもの。  
一人ひとりを大切に成長することを願っています。

### 変化捉え成長へ結束誓う

#### 県貨物自動車事業協同組合 40周年式典

**早内 佐賀市**  
運送会社などでつくる佐賀県貨物自動車事業協同組合(原田一洋理事長、70社)が29日、創立40周年の記念式典を佐賀市で開いた。組合の歩みを振り返るとともに、デジタルトランスフォーメーション(DX)など時代の変化を捉え、さらなる成長につなげるための結果を誓った。

原田理事長は新型コロナウイルスの感染拡大やロシアのウクライナ侵襲などの影響を乗り越え、組合事業を積極的に利用した企業10社に感謝状を贈った。

式典では長く役職を務めた役員や勤続年数の長い職員を表彰し、組合事業を積極的に利用した企業10社に感謝状を贈った。

原田理事長は新型コロナウイルスの感染拡大やロシアのウクライナ侵襲などの影響を乗り越え、組合事業を積極的に利用した企業10社に感謝状を贈った。

「交通遺児への支援に」  
善意銀行へ30万円  
○佐賀県貨物自動車事業協同組合は、創立40周年の記念式典として30万円を佐賀善意銀行(頭取・中尾清一)に佐賀新聞社社長に預託した。29日の周年記念式典で原田一洋理事長が佐賀新聞社の澤野善文常務取締役(右)に目録を渡し、澤野善文常務取締役に目録を手渡し、「道路を仕事にしているのだから、交通遺児への支援をきめ活用していただけたら」と述べた。

「交通遺児への支援に」  
善意銀行へ30万円  
○佐賀県貨物自動車事業協同組合は、創立40周年の記念式典として30万円を佐賀善意銀行(頭取・中尾清一)に佐賀新聞社社長に預託した。29日の周年記念式典で原田一洋理事長が佐賀新聞社の澤野善文常務取締役(右)に目録を渡し、澤野善文常務取締役に目録を手渡し、「道路を仕事にしているのだから、交通遺児への支援をきめ活用していただけたら」と述べた。

大信政などに比べ、時代が大きくな転換期を迎えている。組合も大きく変わっていくために、皆さんの協力と支援をいただけた」と話した。(大橋 隆)

佐賀市稲富町山領191-1

